



2025 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ス テ ム セ ル 研 究 所
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 清 水 崇 文
(コード番号：7096 東証グロース)
問 合 せ 先 執 行 役 員 C F O 茅 野 圭
(TEL. 03-6811-3235)

連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、2026 年 3 月期第 2 四半期決算より連結決算に移行いたしますので、2026 年 3 月期の連結業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結決算への移行の理由

当社は、持続的な企業価値の向上および事業領域の拡大に向け、グループ経営体制の構築を進めております。このたび、以下 2 社を連結子会社化したことに伴い、2026 年 3 月期第 2 四半期より連結決算に移行いたします。

・ STEMCELL INNOVATIONS PTE. LTD. (所在地：シンガポール)

当社は、2024 年 11 月に海外子会社 STEMCELL INNOVATIONS PTE. LTD. を設立いたしました。本子会社は、シンガポールを拠点に、東南アジアにおけるさい帯・さい帯血保管事業の展開を目的としております。また、当社は 2025 年 7 月に、インドネシア最大級のコングロマリット「シナルマスグループ」創業家のファミリーオフィスと戦略的合弁契約を締結し、同年 8 月に共同で増資を実施いたしました。これにより、資本金は 300,000 シンガポールドルから 7,000,000 シンガポールドルへ増加するとともに事業開始に向けた準備が本格化し、当社の連結子会社としての重要性が高まったことから、今回の連結移行にいたっております。

シンガポール国内では、責任者および専門スタッフの採用を進めており、マーケティングおよび細胞加工技術の両面で専門性を有する体制を整備中です。細胞処理センター（CPC：Cell Processing Center）の開設に向けては、物件の賃貸契約が完了いたしました。現在、設備設計とあわせて、事業開始に必要なシンガポール保健省（MOH）への認可申請に向けた準備を進めており、CPC の稼働および事業開始は 2027 年 3 月期第 1 四半期を予定しております。

今後は、シンガポールを中核拠点として、インドネシアをはじめとする東南アジア諸国への周産期領域・再生医療関連サービスの展開を段階的に進め、中期的には日本国内同等以上の事業規模およびサービス提供体制の確立を目指してまいります。

・ 株式会社ミルケア (所在地：東京都)

当社は、2022 年 7 月に株式会社ミルケアの株式を 100%取得し、子会社化いたしました。当初は国立大学法人大阪大学との共同研究および妊産婦向けの情報提供事業を展開しておりましたが、現在は当社のさい帯保管者向けに「ファミリー上清」製造サービスを提供しております。2024 年 11 月に新プラン「HOPECELL」を導入し、さい帯保管者数の増加に伴って同サービスの申込件数も順調に拡大しており、事業の重要性が高まったことから、本中間連結会計期間より連結子会社化いたしました。

今後は、当社グループのインフラおよびネットワークを活用し、周辺事業領域での新たな展開も進めてまいります。

これら2社の連結により、国内外の事業連携を強化し、グループ全体でのシナジー創出と収益基盤の拡大を推進してまいります。

2. 2026年3月期連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期	百万円 3,000	百万円 450	百万円 450	百万円 320	円 銭 31.46

3. 連結業績の概要

上記の連結業績予想は、STEMCELL INNOVATIONS PTE. LTD. および株式会社ミルケアの業績を織り込んだ数値となっております。STEMCELL INNOVATIONS PTE. LTD. では、2026年3月期にシンガポール事業の立ち上げに伴うコストが発生する見込みですが、当該コストは期初の業績予想において当社単体での発生を見込んでいたものです。これらの立ち上げコストを除けば、連結子会社2社の業績への影響は軽微であると見込んでおり、通期の連結業績予想については直近の個別業績予想と同額となります。

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上